



ESG ファイナンス・アワード・ジャパン

環境サステナブル企業部門

募集要項

令和元年 10 月

環境省

目次

1. 趣旨・目的	2
2. 部門概要	3
2. 賞の種類と審査方法	4
(1) 表彰対象	4
(2) 審査方法	4
(3) 審査基準	5
(4) 審査委員会	5
3. 結果発表・表彰式	6
(1) 結果発表	6
(2) 表彰式	6
(3) 受賞ロゴマーク	6
4. 募集期間・応募方法	7

1. 趣旨・目的

パリ協定で掲げられた「2℃目標」を踏まえ、脱炭素社会、持続可能な社会の実現に向けた動きが世界的に加速しています。特に、金融業界において、気候変動リスク等を含む ESG 要素を考慮した投融資がスタンダードになりつつあり、ESG 金融が拡大しています。我が国においても、この世界的な動きに遅れを取ることなく、ESG 金融を拡大させる必要があります。

そこで、環境省では、ESG 金融または環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等について、その先進的取組等を表彰し、広く社会で共有し、ESG 金融の普及・拡大につなげることを目的として、環境大臣が表彰する ESG ファイナンス・アワード・ジャパン（以下、「本アワード」という。）を実施いたします。

2. 部門概要

環境省では、ESG 投資への機運が高まる中で、より実務的・実践的に、環境を中心とした ESG 投資の考え方を広める取組を行っています。その一つとして、平成 29 年度から「環境情報と企業価値に関する検討会」を開催し、「環境情報」の見方について投資実務目線に立った平易な整理を目指し議論を重ね、令和元年 5 月「環境情報を企業価値評価に活用するための考え方に関する報告書」を公表しました。

さらに、環境要素が企業価値に与える影響の理解に基づく投資判断を普及させるとともに、企業が環境要素を踏まえた経営を行い、その状況を開示することを促進するため、平成 30 年度の「環境サステナブル企業評価検討会」では、“「環境関連の重要な機会とリスク」*1 を、「企業価値」*2 向上に向け経営戦略に取り込み、企業価値にもつなげつつ環境への正の効果を生み出している企業”を「環境サステナブル企業」とし、投資家が評価するにあたって参考となる『「環境サステナブル企業」についての評価軸と評価の視点』（以下、「評価軸と評価の視点」という。）をとりまとめました（令和元年 7 月公表）。

上記の評価軸と評価の視点に基づき「環境サステナブル企業」を審査することで、「環境サステナブル企業」の具体的な実例を投資家、企業に示すため、本アワードの一部門として、「環境サステナブル企業部門」を設定しました*3。

*1「環境関連の重要な機会・リスク」とは、組織の短期、中期、長期的な価値創造能力に 実質的に影響を与える環境関連の機会・リスクを指す。

*2「企業価値」には、（1） 組織自身に対して創造される価値で、財務資本提供者への財務 リターンにつながるものと、（2） 他者に対して創造される価値（ステークホルダー及び社 会全体に対する価値）で間接的・将来的に（1）に資すると期待されるものの両方を含む。

*3 投資家向け情報に基づく評価を行う本表彰制度とは別に、環境省では、投資家を含むマルチステークホルダー向け環境報告の質の向上を図ることを目的に、「環境コミュニケーション大賞」も引き続き実施しています。

(<http://www.env.go.jp/press/107170.html>)

2. 賞の種類と審査方法

「環境サステナブル企業部門」では、金賞（1社程度）、銀賞（4社程度）、銅賞（10社程度）を選定し、金賞、銀賞を環境大臣賞として表彰する予定です。

(1) 表彰対象

本賞は、上場企業を対象とします。

(2) 審査方法

① 1次審査

『環境サステナブル企業』についての評価軸と評価の視点に基づき、重要な環境課題に関する「リスク・事業機会・戦略」、「KPI」、「ガバナンス」の開示充実度を、業種別特性も考慮して評価し、応募企業の中から15社程度を選定します。1次審査は、事務局にて行います。

<評価軸及び評価の視点（概要）>

1. リスク・事業機会・戦略	(1) 重要な環境課題分析結果とその方法 (2) 環境関連リスク・機会の特定と影響可能性の把握 (3) 重要な環境課題に関する中長期戦略
2. KPI	(1) 気候変動 (2) 水資源 (3) 生物多様性 (4) 資源循環 (5) 化学物質・汚染予防
3. ガバナンス	(1) 長期的価値創造の観点での重要環境課題に関するガバナンス (2) 環境情報の開示 (3) 投資家対話 (4) リスク機会管理プロセス
4. 加点要素	①SBT ②環境情報基盤整備事業 ③TCFD ④RE100 ⑤グリーンボンド ⑥第5次環境基本計画重点戦略の実現に貢献するプロアクティブな事業機会対応

② 2次審査

2次審査では、投資家等で構成される審査委員会を開催し、開示された取組みが企業経営に統合され、当該企業が「環境サステナブル企業」であるために実効性を有しているかを評価し、業種にかかわらず5社程度を選定。令和元年12月下旬に各社に連絡します。

③ 経営層インタビュー

2次審査で選定された全ての会社で、経営層インタビューを行います。経営層インタビューは、令和2年1月中を予定しています。

(3) 審査基準

採点基準は、別紙「評価軸及び評価の視点（令和元年10月版）」をご覧ください。

(4) 審査委員会

下記の審査委員会において2次審査及び経営層インタビューを実施します。なお、環境大臣賞は、審査委員会の審査結果に基づき環境大臣が決定します。

<委員長>

北川 哲雄 青山学院大学 名誉教授、首都大学東京 特任教授

<委員>

近江 静子 アムンディ・ジャパン株式会社 運用本部 ESGリサーチ部長

櫻本 恵 アセットマネジメントOne株式会社 運用本部 責任投資部 チーフESGアナリスト

竹ヶ原 啓介 株式会社日本政策投資銀行 執行役員 産業調査本部副本部長

林 寿和 ニッセイアセットマネジメント株式会社 運用企画部 ESG推進室/株式運用部
投資調査室 チーフ・アナリスト

兵庫 真一郎 三菱UFJ信託銀行株式会社 資産運用部 チーフアナリスト兼チーフファンドマネジャー

松原 稔 株式会社りそな銀行 アセットマネジメント部責任投資グループ グループリーダー

3. 結果発表・表彰式

(1) 結果発表

各賞の発表は、令和2年2月上旬を予定しています。受賞者には発表前に連絡します。なお、結果発表後に、受賞対象報告書等に重大な過失による虚偽記載などが明らかになった場合や、受賞企業の重大な法令違反などが明らかになった場合には、受賞が取り消されることがあります。

(2) 表彰式

令和2年2月26日(水)に、品川インターシティホール（東京都港区港南2-15-4）で開催予定です。

(3) 受賞ロゴマーク

受賞企業には、PRにお使いいただけるロゴマークを付与します。

ロゴマークの使用にあたっては、ロゴマーク使用規程を御参照ください。



4. 募集期間・応募方法

下記の専用ウェブサイトアクセスし、エントリーフォームに必要事項を入力して応募してください。

必要な場合は電子メールで資料を受領可能です。

やむを得ず紙媒体を提出する場合は、事前に事務局へご相談ください。

募集期間：令和元年 10 月 4 日（金）～10 月 28 日（月）

エントリー専用ウェブサイト：https://questant.jp/q/esgf-award_sustainable_entry

<エントリーフォーム記入上の注意点>

- ✓ 評価対象の開示媒体は、投資家向け環境報告とします。投資家向け環境報告には、統合報告だけでなく、統合報告と一体的に開示媒体として活用されている環境データブックやサステナビリティ報告書なども含まれます。
- ✓ 評価対象の開示媒体が HTML 形式のみの場合で応募後に対象となるサイトを更新されると、評価時に対象の記載が読み取れない場合が生じる可能性がありますのでご注意ください。
- ✓ 4. 加点要素については、該当がある場合、「はい」を選択してください。なお、(1)～(5)で該当がある場合に記載いただく詳細情報は、評価の対象外です。

【お問い合わせ】

ESG ファイナンス・アワード・ジャパン（環境サステナブル企業部門）事務局：

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

政策研究事業本部 環境・エネルギー部 正垣、岩垂、奥野

E-mail：esg2019@murc.jp

Tel：03-6733-1107（祝日を除く月～金の9:30-17:30）